

高田短期大学通信

高田短期大学通信 第54号 2019年(令和元年)6月12日 発行 高田短期大学・編集 図書委員会

「令和」の スタートとともに

学長 栗原 廣海



新天皇が即位され、「令和」の時代がスタートしました。この元号は『万葉集』の「初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す」を典拠とするというので、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められている」と安倍首相は説明されました。

その後、さまざまな分野の人が、それぞれに意見を述べていますが、「令」は「よい」とか「立派な」という意味をあらわし、「和」は、「やわらか」「なごむ」と読む字であるということ、おおもね好評を得ているようです。

ところで、「令」は訓読みすると、「しむ」とか「せしむ」と読み、使役の意味をあらわします。「和」は「やわらか」「なごむ」ですから、「令和」は、「やわらかならしむ」「なごましむ」と読み、私たちの心を「やわ

か心」にしたいと働きかけ、導いてくださったっている皆さまの思いの言葉のように私には受け取れ、「やわらか心」の社会人を育成することを教育の理念とする本学の教育に契合する元号であると感じました。

新しい元号のスタートとともに、本学においても、新しくなった三つの事柄があります。①共通教養科目のキャリアプログラム編と、②子ども学科の専門科目のキャリアプログラム改編、そして、③「三つのポリシー」の改訂です。

まず①については、三つの既設の科目の科目名を変更するとともに、二つの科目を新設しました。その一つが「暮らしと数学」です。これまで理数系の科目がなかったこと、そして、生活に密着した数学的リテラシーを身につけてほしいとの願いからです。もう一つが「暮らしと政治」です。三年前から選挙権が十八歳に引き下げられたことにもない、短期大学においても主権者教育をする必要性を感じたからです。これらはともに選択科目ですが、学生の皆さんは是非履修して、幅広い教養を身につけてほしいと願っています。

②については、「幼稚園教育要領」と「保育所保育指針」が平成三十年四月一日から改訂・施行されたことにもない、幼

稚園教諭養成課程」と「保育士養成課程」も改訂されたことに対応したもので、新入生の皆さんからの適用となります。新しいキャリアプログラムのもと、地域から求められる、有為な保育者を目指して学修に励んでください。

③については、特に「ディプロマ・ポリシー」、つまり「卒業認定・学位授与の方針」の見直しを行いました。その目的は、一つに、「建学の精神」「教育の理念」の体得に対応した学修成果を明文化する、二つに、学修成果を「学力の三要素」、つまり「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」に基づいて記述するということでした。前者については、「いのちの平等、尊厳性への気づき」と「生かされていることへの感謝」として、「共通到達目標(全学的学修成果)」の中に記述しています。

また、学修成果の修得度合いをルーブリックによって自己評価していただく試みを始めました。現在の状況の把握のために四月初めにすでに実施しましたが、今後はセメスターごと realistically 実施する予定ですので、これとおして、皆さんの日々の学修の成果を自ら実感し、次の学びへとつなげていただきたいと思います。

目次

学長のご挨拶	1
学科紹介	2
子ども学科	2
キャリア育成学科	2
オフィスワークコース	3
介護福祉コース	4
学生生活・学生生活支援	4
学生自治会、部活動の紹介	4
(女子バレー部、女子サッカー部、吹奏楽部)	5
新入生宿泊研修、オーストラリア研修	6
キャリア支援センター、学生相談室、外国人留学生支援室	7
地域連携施設等	7
・仏教教育研究センター、育児文化研究センター、図書館	8
・キャリア研究センター	8
・介護福祉研究センター	8
高大教育交流事業	9
着任、人事、総合案内板、同窓会近況	10
卒業生からのメッセージ、貸借対照表	11
就職状況、編集後記	12



これからの保育者養成



子ども学科長
福西 朋子

新元号となる今年、学科カリキュラムも新スタートを切りました。それに伴い改めて「高短の保育者養成」を考えていく機会とも捉えています。

新しい『幼稚園教育要領』等による保育が始まりました。その内容は、「子ども主体」「非認知的スキルを育む保育」をコアとしており、そのような保育のための保育者養成は、学生の非認知的スキルを高めることが必要で今後の課題でもあることです。好奇心、意欲、発想力、柔軟な社会性等々、二年間でいかに高められるのか。私は学生さんに「保育って面白い」と思えたり、子どもの育ちに関わることに大いに価値を感じたりする経験を多くしてほしい、それが、学びへの意欲、子どもへの好奇心、保育活動の発想力につながるかと考えているからです。ともに、子どもの世界に飛び込み、浸りましょう。

活動報告

ゼミナール報告会



二年次科目「ゼミナールII」での学びを一年生も交えた学科全体で共有するため、ゼミナール報告会を行いました。各ゼミで設定したテーマに沿って、スライド資料による報告から実践を交えたものまで各ゼミの特色が存分に表れた会となりました。そして、二年間の学びを得たからこそその内容や考察の報告ともなり、ゼミナールを締めくくるにふさわしい時間となりました。



子ども学科二年
村田 愛莉

二年生になって

入学して一年が経ちました。入学した頃は不安なことばかりでしたが、授業で様々なことを学んだら、実習を経験したりしていくうちに保育者になりたいという気持ちが強まり、とても充実した一年となりました。二年生になり、一年後自分が保育者として働いていることを想像

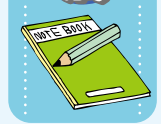
みえこどもの城
連携協定ひるば



松阪市のみえこどもの城で「みんなあつまれ！たかたんひるば」をゼミ活動の一環として行いました。造形あそびやゲーム、劇や音楽コンサートなどのプログラムを学生主体で企画・実践し、親子のみなさんに大いに楽しんでいただきました。学生自身も親子の方々とたくさんかわらせていただく機会となりました。

就職講座「ようこそ先輩」就職活動の一環として、卒業生による現場での話と質疑応答の場を設けました。公立保育園や私立幼稚園・保育園、児童養護施設で保育職として働くリアルな様子、子どもとのかかわりなどに、学生が真剣に、また憧れをもつて聞き入る姿が見られました。

研究余滴



アクティブラーニングについて

青木 信子

先日、ハーバード大学のサンデル教授の「白熱教室」のビデオを視聴した。サンデル教授は政治哲学者で、ハーバード大学の人気の先生である。サンデル教授の講義は「対話型講義」、つまり「アクティブラーニング」(以下ALと表記する)の要素を含んでいる。

私が視聴したビデオは「トロッコ問題」から正義を考えるものであった。プレリーのきかなくなつたトロッコ電車の進行方向に五人の作業員がいて、そのままでは彼らをひいてしまうが、ハンドルを切つて支

高田短期大学に入学して



子ども学科一年
中条 優月

高田短期大学に入学して約一か月が経とうとしています。高校とは違う一限九十分の授業やゼミ活動など、新しい環境に少しずつ慣れてきたように思いますが、宿泊学習を終え、これからTJC祭や高短祭などさまざまな学校行事があります。新たにできた友達やゼミ仲間、ゼミの

線へ進むと一人の作業員をひくこととなる。どちらを選択するか。サンデル教授は学生の選択理由を聞き出し、内容を認め、更に問答を重ね、学生は対話的で深い学びをしていた。しかし、ある場面で、学生が選択肢以外の考えを発言した時に、内容を掘り下げられずスルーされることがあった。サンデル教授の想定範囲外だったからだろうか。

私は幼稚園教諭時代、発表会の劇を決める際に必ず子どもたちの希望を聞いた。しかし、劇の登場人物の人数やクラスの年齢に合った内容等考慮しながら、私がしたい劇へと誘導していたように思う。自分では今というALをしていたつもりでいたが、結局は、私の想定範囲内で納めようとしていたのだ。

今求められているALの意味と意義をもう一度問い直したい。先生と協力しながら、最後の学生生活を充実させたいです。

授業では専門的な知識を学ぶことができるので、入学前より子どもに対する興味関心を持ちながら毎授業取り組みることができています。

来年の今頃は、就職活動が始まります。就職活動をしている自分の姿は想像がつかないけれど、きつとあつという間に一年が過ぎてしまうといます。一日一日を大切にして保育者としての基盤を固めていきたいです。

キャリア 育成学科 オフィスワークコース



早まる就職活動



キャリア育成学科
オフィスワークコース長
野呂 健一

今年は何年以上に、就職活動の動きが早まっています。テレビニュースや新聞等で見聞きしたり、二年生の中には実際に友人が内定を得たという話に接したりして、焦りを感じている人も多いように見受けられます。しかし、焦りから本意ではない会社へ応募することは、自分にとっても企業にとっても良いこととは思えません。今一度、自分の適性や志望業種・企業をしっかりと見極め、就職活動に向き合うように指導しています。

来年も就職活動開始の時期は今年と同様、あるいはさらに早まることになるかもしれません。一年生の皆さんは、まずは日々の授業や資格取得、ボランティア等の課外活動に取り組み、就職活動の時期がどうなるかと焦らずに済むよう、しっかりと実力を蓄えると同時に、自分の将来について腰を据えて考える機会を持つてもらいたいと考えています。

活動報告

高祭祭での展示発表

十月二十日・二十一日に行われた高祭祭において、オフィスワークコースでは、一年生前期のスタートアップゼミナールで学んだことを活かしてポスター発表を行いました。学生一人一人がゼミでの活動をもとに調査した内容をまとめ、ポスターとしての見た目も工夫しました。専門性の異なる教員の指導のもと、各ゼミナールの特色が反映されたバラエティに富んだ内容に、来場した方々も足を止め



二年生になって



キャリア育成学科
オフィスワークコース二年
前川 紗嬉

二年生になり、いよいよ就職活動が始まりました。不安なこともありますが、周りには支えてくださる方がいるので、今まで学び身に付けたことに自信を持ち、就職活動に臨みたいと思います。一年生では、資格取得に力を入れてきました。受験すること

興味深くご覧いただきました。春季就職特別講座

本格的な就職活動のスタートの前に、一年生を対象とした春季就職特別講座を行いました。面接でのマナーや企業研究の進め方についての講演、化粧品会社社員によるメイクアップ講座のほか、模擬面接、集団面接対策を実施しました。教職員が面接官を務めた模擬面接では本番さながらに自己PRに取り組みました。集団面接では、学生同士で、応募者役、面接官役、評価者役を務めることにより、自分自身の課題を見つめ直すことができました。



研究余滴



異文化トレーニング

山下 道世

異なる文化背景を持つ者の間では誤解が生じやすいが、その理由についてH.C. Triandis (一九九五) は、相手の行動の原因の帰属を誤るからだと言っている。八代京子他(二〇〇一)は、その例としてあるエピソードを挙げている。アメリカ人の夫と日本人の妻がドライブをしていた際、夫は飲み物を買いにコンビニへ行き、妻は車で待っていた。そして夫が戻ってきた時、妻は怒った。なぜだろうか。それは、夫が自分の分だけ飲み物を買ってきたから

大学生になって



キャリア育成学科
オフィスワークコース二年
永井 美咲

入学してもうすぐ一か月がたちます。初めは今までの高校生と違った部分が多く、戸惑うこともありました。少しずつ大学生活にも慣れてきたと思います。しかし、気が緩んでしまうことのないよう、毎日を大切に過ごしていきたいと思っています。これからの二年間は、高校生で

だ。日本人である妻は、夫が飲み物を買うのであれば、当然一緒にいる妻のことも気遣って買ってくることを期待していた。しかし、アメリカ人の夫からすれば、飲み物が欲しいのであれば、妻は事前にならそう意思表示をするべきなのである。

実は、全く同じことがアメリカ人ではなく、私の日本人の夫との間で起こった。異文化は国籍が違う者同士の間のみならず、身近なところにも存在していると痛感した出来事であった。家庭内でもお互いに異文化トレーニングをする毎日だ。皆さんももし相手の言動で、なぜ?と思うことがあれば、すぐに怒らず、自分が思いつく行動の原因とは違うところに、相手の意図があるのではと疑ってみると摩擦は減るかもしれない。

はなく大学生として責任のある行動をすることを心掛け、自信をもって社会に出ていけるような自分になりたいと思います。来年には就職活動が始まりますが、私はまだ、どのような職種に就きたいのかということはいまよく決められていないので、自分がしたいことや、これからの人生をどのように送っていきたいのかということをしつかりと考え、悔いのない大学生活を送りたいと思います。

キャリア 育成学科 介護福祉コース



介護福祉士養成施設の役割



キャリア育成学科
介護福祉コース長
福田 洋子

平成三十年度に介護福祉士養成課程における教育内容の見直し検討が行われ、介護福祉士の質の向上が示されました。一方、人材不足対策として、外国人の受け入れの門戸が広くなり、介護福祉コースも多くの留学生が入学し、一生懸命に学んでいます。

しかし、平成三十年度の国家試験では、留学生の合格者がいないことから、国家試験合格が如何に難しいか改めて考える機会となりました。留学生の日本語能力と専門分野の知識や技術の向上を目指すにあたり、授業内容の工夫が重要であることを身にしみて感じた年でした。短い二年間で、学生が介護の専門職として働けるように如何にサポートするか、心して取り組んでいきたいと思えます。

活動報告

国家試験対策

国家試験対策として、模擬試験と日本介護福祉士養成協会主催の学力評価試験を行いました。一月末の本番に向け、



傾向と対策を行い、必死に取り組みました。後期には本格的な対策が始まり、学力強化のために国家試験対策の授業も開講されています。

ゼミナルレポート発表会

一年生二年生共にゼミナルのレポート発表を行いました。個々に関心を持ったテーマを選び、調べた内容をパワーポイントにまとめて発表しました。一年生は初めてのレポート発表に緊張した面持ちでしたが、自分なりに

一年間を振り返って



キャリア育成学科
介護福祉コース二年
森本 真衣

入学してから一年が経ちました。入学当初は、これからやっつけていけるか不安でしたが、介護福祉コースはほかのコースに比べ、少ない人数なのですぐに新しい仲間と馴染むことができ、一日が過ぎていくのが早く、充実した一年を過ごすことが出来ました。また、クラスの過半数

にまとめた内容を発表していました。二年生にとっては卒業前最後のレポート発表になり、作成や発表の仕方など要領を掴めてきたようです。留学生が見学に来ており、お互い良い刺激になったようです。



高短フエア

三月に高校生を対象とした高短フエアを開催しました。介護福祉コースでは「電動車いす体験」と「福祉レクリエーション体験」を行い、介護福祉コースの魅力と共に伝えました。福祉レクリエーション体験では指先を使った、バスケットボールを行い、在学生から高校生の皆さんに目的や効果などをお伝えしました。約四十名の方に参加いただき、和気あいあいとした雰囲気となりました。

が留学生です。今まで触れることがなかった異国の文化に触れることで良い刺激を受け、新しい自分に出会うことが出来た一年でした。

二十日間の介護実習Ⅱでは、この一年間で学んだ介護技術、知識を活用していくと共に、新たな介護方法を教えていただき、多くのことを吸収することが出来ました。

残りの学生生活も、仲間と助け合い、励ましあいながら一日を大切に過ごしていきたいです。

研究余滴



介護実習における評価票の検討

福田 洋子

高田短期大学介護福祉コースでは、二年間の養成課程で、三回の介護実習(計四五〇時間)が実施されている。介護実習終了後には、自己評価票を実習書類と共に提出し、施設からは、実習指導者が採点した評価票が返される。

これまでの評価票では、実習結果の点数は明確であったが、今後の課題が曖昧で、学生自身が、実習後に、どこをどのように伸ばせばいいのか理解しにくい内容があった。そこで、評価内容の見える化を図

高田短期大学に入学して



キャリア育成学科
介護福祉コース一年
横山 京佳

高田短期大学に入学してもうすぐで一ヶ月が経ちます。入学した時は新しい環境に慣れず不安ばかりでしたが、友達もでき少しずつ慣れてきました。

九十分の授業時間は長いと感じますが資格取得のための必要な授業なので集中し受けたいと思います。そして学習したことを実習に活かしていきたいです。

り、学生のできるころ、努力が必要なところを明らかにするために、平成二十九年度よりルーブリック評価票の検討を重ね採用した。

このルーブリック評価票は、実習態度やコミュニケーション等六領域に評価項目十七項目と評価指標(目標六十五項目)を決め、学生の動きを細かく評価できるようにした。ルーブリック評価票は、学生自身からは、強化しないといけないところが分かり、今後の学習に生かせるとの声が聞かれ、実習指導者からは、評価がつけやすいと好評であった。

実習施設と学校との連携を図り、学生の介護の質の向上に繋がる評価票を目指すために、今後もルーブリック評価票の検討を重ねていきたい。

実習は、授業では学べないこともありとても良い経験になると思うので一生懸命取り組み将来に役立てていきたいと思えます。また高校とは違い担任の先生がいないので、自分のことは自分で責任を持って行動しなければならぬと実感しました。来年には就職活動が始まりますます二年間はあっという間に過ぎると思うので、一日一日を大切にして充実した短大生活を送っていききたいと思えます。

学生自治会

こんにちは、私たちは学生自治会執行委員です。

今年度から執行委員として様々な活動をしていきます。私たち十五人は学科も違い、人数が多く、意見がまとまらないこともたまにありますが、話し合いを重ねより良い企画を立てるべく日々精進しています。個性的なメンバーばかりで、毎日笑いが絶えません。

そんな私たちの初めての活動は、一月に行われた新年会です。個人戦で行われた四択のクイズ大会は、誰でも知っている常識問題からちょっと難しい問題、皆さんが一度は耳にしたことのある曲を用いたイントロクイズなどが出題され、終始盛り上がった行事となりました。

四月の新入生ガイダンスでは、私たちが中心となって初めて企画と進行を行いました。

そして五月にはTJC祭を開催します！ 昨年度よりもさらに盛り上げていきたいと思っています。

そして、十月には高田短期大学の一大イベントである大学祭が行われます。今年度は、十月十九日(土)、二十日(日)に開催します。大学祭では、皆さ



んの意見や要望を取り入れ、地域の方々との交流や学生同士の交流も深め、より良い大学祭にしていきたいと考えています。また、学生自治会はたくさんの方の情報をメールだけでなく、Twitterやインスタグラムから発信しています。学生からの意見も受け付けているので、気軽にフォローお願いします！

まだまだ不安な面や至らぬ面も多々ございますが、学生皆さんの短大生活をより良いものにしたいて考えておりますので、ご意見ご指導の程よろしくお願ひします！

部活動の紹介

活気とやる気にあふれるクラブ活動

女子バレー部



東海一部復帰を目指して

バレー部監督 秋津 修

今年で創部四年目を迎えることができました。一年で部昇格二年目には、東海リーグ二位三位インカレでは全国唯一の短期大学での出場と輝かしい戦績を上げることができましたが、昨年残念ながら東海リーグ二位に降格し、現在、日ごろの練習でチーム力向上を図り、一部復帰を目指して春季リーグを戦っているところです。今年のチームは、二年生九名、一年生二名、計十一名というざりざりの状態であり、また実習や就職活動、授業などで十分に全体練習ができない状態ですが、一部復帰と勉強の両立を成し遂げるため全力で学生生活に取り組みんでいます。



女子サッカー部



日進月歩

女子サッカー部監督 宮本ともみ

高田短期大学女子サッカー部は実質的な活動を始めて今年で四年目となります。昨年からは引き続き高校女子サッカー部と合同で東海リーグSリーグに参加し、東海地域の高校や大学との交流や、チーム強化を行なっています。サッカーを通じて仲間とともに様々な場所を訪れ重ねた経験は、選手たちにとって大きな財産となっています。今後とも活動へのご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。



吹奏楽部



生演奏を届けています。

吹奏楽クラブ指導員 増亦 浩一

「ランチタイムコンサート」年二回、「認定こども園訪問演奏」、「高短祭」、そして「特養老人施設訪問演奏」を行っています。八月に一泊の合宿があります。大学の音楽室で練習後合宿所の西蓮寺さんにてBQ、花火大会で大盛り上がりとなり、夜となります。コンクール上位入賞をめざす「音が苦」ではなく「音楽」演奏を心掛けています。聴いて楽しい、見てほほえましい部活です。演奏技術も問いません。訪問演奏では簡単なダンスや手遊びをいれて子どもたちとふれあいます。子どもたちの笑顔を見て音楽っていいなと思うひとときです。



平成31年度 新入生宿泊研修



学務委員長 野呂 健一

毎年恒例の「新入生宿泊研修」を、四月二十五日(木)・二十六日(金)に、白山ヴィレッジゴルフクラブで行いました。

この研修の目的は、短大生としての自覚・自立心や協調性を養うとともに、学生・教員相互の理解と親睦を深めることでした。学長講話を含む開講式のあと、二日間にわたる学科研修を受け、また二年間学ぶ仲間と食事や宿泊をともにすることに、研修の目的は十分に果たすことができたと思います。

学科研修

○子ども学科
一日目は、毎年恒例の「つくって、あそんで、みせて2019」でした。ゼミ毎に子どものうたと色を題材に、ダンスの振り付けや衣装製作を行いました。まだ入学して間もない学生たちですが、いかに効率よく複数の相手に伝えるかなど、チームワークで取り組む大切さを学んだのではないのでしょうか。二日目の「パターゴルフ」では、ゼミを二チームに分け、総打数が少ないゼミ上位が賞品を獲得できるとあって白熱した様

子でした。また、「素敵な保育者を目指して」という題材で宿泊研修の振り返りを行いました。各ゼミで様々な意見が挙げられ、今後の学生生活に期待が込められる内容でした。以上、学生、教員の親睦を深めることができた二日間でした。



キャリア育成学科

一日目は「教員にインタビュー」を行いました。この研修の目的は、学生に教員の様々な生き方を知ってもらい、今後のキャリア形成を考える際の参考にしてもらうことでした。午前の部では、くじで決まった班に分かれ、事前に考えた担当教員に対する質問を整理しました。午後の部ではインタビュをし、回答を模造紙にまとめ、発表し

ました。各班、よく知らない学生同士が緊張しながらも、各自の強みを生かして役割分担を行い、完成に向けて一生懸命取り組みました。研修を通して情報収集力、要約力、伝達力、協働能力など、学生は今後の大学生活を送るうえで大切な基礎力を身に付けたのではないのでしょうか。



二日目は子ども学科と同様「パターゴルフ」を行いました。ほとんどの学生にとって初めての経験でしたが、ホールインワンが出るなど盛り上がりました。ゼミ生同士の連帯感も深まったように感じます。

オーストラリア研修

研修で学んだ日本との違い

子ども学科 二年

畠山 ひとみ

海外研修では初めての経験が多く戸惑うことも多かったが、毎日新しいことばかりですが、楽しくかった。その中で私はオーストラリアと日本の違いを主に三つ学んだ。

まず一つ目は、家族間のコミュニケーションとハグやキスなどスキンシップを大切にしていることだ。私のホームステイ先の四人姉妹は、帰宅後必ず今日あった出来事を家族に話していた。そして、夕食の時間は会話を楽しみながら食事をしていった。日本人はオーストラリアの人に比べてスマートフォンやテレビを見て自分一人で過ごす時間が多いのではないかと思った。また、学校に行く時や寝る前はハグやキスで挨拶をしていて、愛情表現がストレートで素敵だと思った。

二つ目は、ドロマナカレッジに一週間通い、またドロマナ幼稚園を訪問してオーストラリアと日本の教育の違いを学んだ。日本ではみんなと違うことをすることは勇気がいり、できれば授業中目立ちたくないと考える人が多いが、カレッジの授



業ではみんなが手を挙げ、自分の気持ちや考えなどを伝えていた。幼稚園では子どもたちが自由に好きな所で遊べるように環境構成されていて、日本のように集団で何か制作をすることはなく、子どもたちがやりたいことを自分で選んで遊んでいた。

三つ目は、オーストラリアでは様々な人種の人を温かく受け入れていることだ。日本ではほかの人種の子どもがいたらきつと注目されるだろう。しかし、オーストラリアの子どもたちは、髪の毛の色や肌の色が違ってても仲良く話していた。また、私にも明るく話しかけてくれた。その姿を見て、今まで偏見を持ってしまっていた自分が小さく見え、みんな違ってみんないいと思っ

た。海外研修を通して日本では味わえない経験をする事ができ、研修に参加してよかったと思う。

キャリア支援センター

キャリア支援センター長 岩間 知之

「キャリア支援センター」って、聞き慣れない言葉かもしれないませんが、高校で言う「進路指導室」です。二号館玄関フロア横にあるので、新入生の方でも誰でもいつでも気軽に訪ねてください。その時は、明るく元気のよい挨拶で、皆さんをお迎えます！

それでは、センター職員八人を左下の写真で紹介いたします。

まず、左端から、公務員試験回答解説はおまかせあれの庶務担当岡見史先生。次が元銀行支店長で県内企業情報を熟知する佐波睦巳先生で、その隣が高短OG、保育園志望者等を丁寧に指導してくださる前田美菜子先生。その横が教学部長を兼務するセンター長の私。右隣がCDA国家資格を持つキャリアカウンセラー兼アドバイザーの野崎千恵先生。その隣、新任の堀内由香里先生は前津市立幼稚園長で後期授業『家庭支援論』も担当します。次が保育者志望学生の頼みの綱、相談担当八年目のベテラン、梶間稔先生。最後は元銀行支店長でキャリアサポーター四年目になる優しい小田富彦先生です。

キャリア教育の目的はと問われれば、「人として生まれ、人として関わり、人を育て、人に育てられ



る人間を育むこと」という言葉が心に浮かびます。二年間という短くも大切な時間の中で、確かな知識や技能を身に付ける事も大切ですが、読書や映画鑑賞、旅行、アルバイト、恋愛等様々な体験を通して、「人」を理解し、「人」と協力し合い、助け合うことのできる、信頼される社会人としての基盤を培って欲しいと切に願っています。頑張り！ 高短生！

ボランティア活動支援室

キャリア支援センターの東隣の部屋がボランティア活動支援室です。月、水、金曜日には杉谷哲也先生が在室され、アジアの子どもたちへの国際的なサポート等も含めて、皆さんのボランティア活動のお手伝いをしています。来室を待っています！

学生相談室



保健室

富永 礼子

本年度より学生相談室が設置され、保健室とカウンセリング室がその役割を担っています。

誰に相談していいかわからないときや短大生活で困ったときにはまず保健室を訪ねてください。心や身体のことだけでなく、対人関係や将来のこと、どんな相談でも、漠然とした不安やちよつとした悩みでも一緒に解決策を考えます。

相談内容によっては、保健室からカウンセリング室や適切なサポート先を紹介いたします。

また、保健室では、皆さんが心身ともに健康で充実した学生生活を送れるようお手伝いをしています。学校で体調が悪くなったときやケガをしたときは応急処置をします。ベッドやソファで休養もできます。

保健指導や健康相談を通して心や身体がより健康になるためにはどうすればいいかを皆さんと一緒に考えていきます。

社会人になるまでに、心と身体の健康を気遣える人になってください。保健室からは、大切なお知らせや情報をメールや掲示板等でお知らせしますので、確認して行動してください。

保健室直通電話

059-253-7031

カウンセリング室

橋本 景子

病院に行つて、その後「もうどこも悪くない」と言われるのに、いつまでたつてもその症状が治らない。そんなことはありませんか。そんな時は、「ころ」が関係している時があります。「ころ」がなんらかのSOSを発信しているのです。

誰かに話してみても楽になつたという経験はありませんか？「なんだかよくわからないけれども、言いたいことを言つたらスッキリした！」なんてこと、あるんじゃないでしょうか。

カウンセリングはアドバイスではありません。主役はあなたです。あなた自身が問題解決するのをお手伝いします。

現状を変えることは難しいかもしれませんが、でも、自分の考え方を変えることはできます。誰かに話してみても、自分の中に生まれる新しい考え方で、ベターだと思われる方法でやってみればいいのです。そうすると、何かが変わりだします。

どうしていくのがあなたにとってよりいいのかと一緒に考えてみませんか。きっと、これまで気づけなかった「何か」に気づくはずです。あなたの人生の主役は、やはり、あなたです。

外国人留学生支援室

外国人留学生支援室長 大橋 一喜

外国人留学生支援室では、留学生の修学だけでなく、生活面など全般的な支援を行っています。留学生の増加に伴い前年の七名から十四名に担当者を増員し、「留学生アドバイザー」として指名を行い、より細かい支援ができる体制となりました。具体的には、アルバイト時間の管理、奨学金の紹介、資格取得のサポート、生活用品の貸与などを行っています。また、定期的に留学生ミーティングを開催し情報交換をしたり、卒業した留学生との交流会を開催し貴重な経験談やアドバイスをもらえる機会となっています。

留学生は、二年生十一名と一年生十九名となっており、出身国は、中国、ベトナム、スリランカ、ネパール、フィリピンなど多くの国籍の留学生が在籍しています。また、介護福祉コース一年生の授業において、経験豊かな日本語指導員を配置させていただきます。

今後とも留学生アドバイザー一丸となり、外国人留学生が有意義な学生生活を過ごせるように努めていきます。

仏教教育研究センター

センター長 松山 智道
当センターは、本学の建学の精神に基づき、仏教文化の護持発展を目的に活動しています。

その活動内容は、まず第一に、毎月一回、研究会を開催しています。現在は、高田派中興の祖である真慧上人が著された『顕正流義鈔』の研究を進めています。

第二には、図書館に寄贈されている貴重な仏教関連図書および資料の整理と管理を行っています。

第三の活動としては、年に二回、「公開講座」を開催しています。地域の方々に仏教に触れていただく機会をご提供することを目的に、高田本山教学部との共催にて真宗高田派本山にて開講し、多くの方が受講されています。



第四の活動は、高田本山寄附講座として、「仏教基礎講座」と「仏教専門講座」を開催しています。現在、「仏教基礎講座」は八月に五日間（毎日五講座）開講し、「仏教専門講座」は毎月一回（一日五講座）で年十回（十一回目が試験日）の講座となっています。両講座とも高田派の教師・布教使養成の講座であるとともに、地域に開放された地域貢献事業としての講座であり、一般の多くの方が受講されています。特に「仏教専門講座」は文部科学省の「履修証明プログラム」として提供し修了者には学校教育法に基づく履修証明書が交付されるので、受講者の励みとなっています。



育児文化研究センター

センター長 鷺見 裕子

育児文化研究センターは、育児教育、子育て、児童文化等の研究活動と、地域社会への貢献と連携を目的に様々な事業を展開しています。今年度も地域と協働で特色のある活動を進めていきます。

* 研究活動

年三回の定例研究会やグループ研究により研究を進め、その成果や情報は研究紀要「育児文化研究」等により発信します。

* 地域子育て支援事業

九年目を迎えた本学内で開催する「おやこひろば たかたん」は地域の親子が交流でき、子育てを楽しく、そして共に学べる場をめざしてきました。今年度は七月十五日、九月二十三日、十月十四日の月曜祝日に四歳未満の親子で就園児も対象とした「ホリデーひろば」を開催します。また、子育て講座や子育て相談も行っていきます。さらに、学



生が保育ボランティアやサークル活動でひろばに関わり、子育て支援の学びを深める場となっています。また、二〇二〇年二月一日（土）に明和政子先生を講師に子育てに関する講演会を開催します。

* 地域連携子育て支援事業

行政や地域団体と連携協力した子育て支援活動に参画します。また、津市委託の子育て関係者の交流会と研修会、親支援教室を企画・運営します。

* 学生支援事業

地域の保育・子育て支援活動に参加する「子育て応援隊」や子育て応援サークル「たんたんクラブ」のボランティア学生に対して実践を保育の学びに繋げる支援を行います。



図書館



AV・雑誌コーナー
図書館長 鷺尾 敦

昨年、本館の大きな課題としてDVD等の視聴に関する著作権問題が浮上しました。本館にラーニングコモンズが設置されて以来、視聴コーナーを授業の合間に利用する学生が多くあり、私たちは、視聴のマナーの方に注意を払ってきました。しかし、そのDVD視聴が、一、三人のグループであっても上映扱いと考えられるという、著作権処理の扱いについて異なる解釈があることを知る機会がありました。そこで、どのような著作権処理がされているか個々のAV資料を調べ、個人視聴できるもの、上映できるもの、視聴できないものをあらためて整理しました。一方で、視聴スペースを個人視聴となるようモニターと椅子の配置を変えました。実は視聴スペースが幅を利かせ、隣にある雑誌コーナーが狭いという課題が長らくありました。この機に雑誌をゆつたりと閲覧できるスペースを確保することになりました。この改善されたAV・雑誌コーナーを、学生、教職員、一般の利用者の皆様に利用して頂きたいと思えます。

キャリア研究センター

センター長 中畑 裕之
当センターは地域連携施設として、津市、百五銀行・百五総合研究所などと連携協定を結び、調査研究や情報発信、イベントへの参画、人材育成などの事業を行っています。以下に活動の一部をご紹介します。

* 研究活動

人材育成、雇用・労働問題、地域社会等に関する研究成果をとりまとめた、「キャリア研究センター紀要・年報」第5号を発行しました。

* 連携事業

「若手社員の採用・定着・育成のためのワークショップ」

若者の早期離職が大きな問題となっていることから、若者の



育成・定着、また、採用・就職のミスマッチを抑制するためにどのようなにすべきか、企業と本学学生によるディスカッションを行いました。参加学生には大きな刺激となり、参加企業からは高い評価を頂きました。

「就業支援セミナー」

本学卒業生や地域の方々で就業力を高めたい方向けに、就業支援セミナーを開催しています。従来からのアクセス、ワード、エクセルの講座に加え、新たにパワーポイントの講座を開催しました。いずれも定員を超えるお申し込みがあり、地域の方々のニーズに合致したものが提供できていると考えます。

両事業は今年度も開催いたします。その他にも様々な事業を企画しておりますので、お問い合わせください。

（両事業とも百五銀行・百五総合研究所との連携事業です。）



介護福祉研究センター

センター長 中川 千代

介護福祉研究センターは平成二十六年に開設され今年度から新センター長が就任し、益々地域福祉に寄与する機関として様々な事業を展開していくとともに、介護福祉、高齢者問題、障害者問題等に関する研究活動を進めていきます。本学付属の地域連携施設のなかでは小規模ながら地域の介護・福祉の発展に寄与できるよう活動していきます。

◇ 研究活動

学内外の研究員が研究発表を行う定例研究会を毎月行っています。本センターの中心事業です。卒業生の参加もあり活気がでてきました。また、研究紀要「介護・福祉研究」第五号を刊行し情報発信しています。



◇ 介護福祉セミナー

本学内で年二回開催します。

第一回は六月九日(日)に俳優で介護福祉士の菅原直樹先生を講師に招き「老いと演劇」認知症の人と「いまここ」を楽しむ」というテーマで行います。第二回は十二月十四日(土)に「いきいきシニアライフのための食育講座」を予定しています。一般の方や卒業生が対象です。

◇ 高校生等を対象とした介護福祉啓発活動

高校生や留学生在が対象で県内の特別養護老人ホーム等を研究員や在学生とともに見学します。

◇ 高齢者を対象とした介護福祉啓発活動

地域の高齢者を対象として本学や地域に向いて介護を学ぶ学生達とともに交流しながら学ぶ場を提供します。



高大教育交流事業

入試広報委員長 山口 昌澄

本学では、平成二五年度より本学に多くの入学者がいる県内高等学校との高大教育交流事業を進めています。現在十三の県立高校、高田高校と協定を結び、出前講座や本学での特別授業等の教育交流に取り組んでいます。また教育交流連絡協議会を年二回開催し、高大接続に関する教育課題について意見交換を行っています。昨年度協議会では大入学入試改革や学生支援等について意見交換をおこない、次年度以降の本学入学者選抜方法の変更や円滑な学生支援の方策等について多大な示唆を賜りました。

各高校・地域各所での出前講座や職業・進学ガイダンス等の教育交流については、協定校以外のものも含め、昨年度は計一六〇講座を開催しました。

その他高校生向けイベントとして、今年五月連休中に「高短へおいでよー先取りCAMPUS DAY」と題した授業見学会を新たに実施しました。今後の予定としては、オープンキャンパスを六月十五日(土)と七月七日(日)に、高短フェアを来年三月八日(日)に開催します。

着任のみなさん



「やわらか心」を
実感しています
キャリア育成学科
服部 優子

昨年度からの非常勤講師を経て、この度介護福祉コースの講師として着任いたしました。介護の仕事の面白さとやりがい、現場で長く働ける身体づくり等、少しでも学生の皆さんにお伝え出来ればと思います。ゼミ担当や委員会等、不慣れで戸惑う事もありますが、教職員の皆さんに助けていただく感謝の毎日です。少しでも早くお返しできるように、頑張りたいと思います。



新鮮な気持ち
総務課
三室 貴久

四月一日付けで、高田中高等学校事務部より異動して参りました。環境の変化に戸惑いながらも、新社会人の頃の新鮮な気持ちを出し、日々の業務に取り組みしております。中高等学校での経験及び十年以上勤めた前職での営業・営業指導の経験を生かし、これから社会に出て行く学生のプラスになりますよう微力ながら尽力いたしますのでよろしくお願います。



新しいスタートを
ともに
キャリア支援センター
堀内 由香里

この度、母校である高田短期大学でお世話になることになりました。三月まで公立幼稚園で園児と共に過ごし、日々の子どもの成長を喜び、保育は尊い仕事と感じてまいりました。これからは、保育に携わる学生の皆さんに、保育の喜びや楽しさをお伝えできればと考えています。私自身も学生の皆さんと同じように新たな気持ちでとらえ学んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。



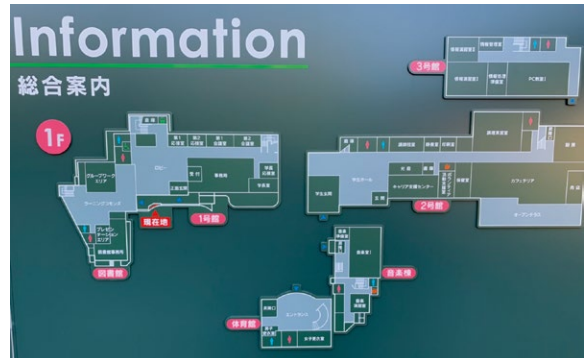
「やわらか心」と
多様性
外国人留学生支援室
伊藤 由香

外国人留学生支援室アドバイザーとして着任しました。中学校やNPO、大学で行ってきた外国人支援の経験を活かして、お役に立てればと思います。三重県は総人口に占める外国人の割合が二・七三%（全国四位）と外国人の多い県です。学生の皆さんには、教育の理念である「やわらか心」をもち、文化の多様性や豊かさを学び、社会で活躍できる人物になっていただきたいと思います。

《人事》
○退職
子ども学科長・教授
千草 篤磨
キャリア育成学科・准教授
橋本 景子



本学ではこのたび、図書館前に「総合案内板」を設置しました。本学は一号館・二号館・三号館・音楽棟・図書館・体育館・介護実習施設で構成されています。本学の学生をはじめ、学外からの来訪者、オープンキャンパスや学校見学等、また外部試験等で本学を訪れる方々に、それぞれの配置がこの総合案内で分かりやすく表示されています。また、各館入口には、館名のサインも表示されました。本学へお越しの際は是非ご覧ください。



同窓会の近況

北端 一子

役員会で、高短祭への出品物に、手作りをもっと出そうと話合っていますが、なかなか思うような品物がありません。そんな時、もうすぐ満九十を迎える母がペットボトルのカバーを余っている毛糸で作っていました。ボケ防止に良いと言った作っては、仲間にあげていました。毛糸が足らなくなったと言ってきたので、持っている毛糸を分けました。バザーに出せるように少しもらいました。バザーを楽しみにしていただきますね。

バザーの収益金は、同窓会開催への補助に使っていただいているので、これからも補助出来るようにバザーを工夫したいと思います。ご協力をお願いいたします。ぜひ見に来て高短祭を盛り上げて下さい。



卒業生からのメッセージ

「保育園の現場に立って」



子ども学
平成三十年年度卒
廣住 舞

①津市立高茶屋保育園②初めての担任であるため、最初は自分で務まるのかどうか不安でいっぱいでした。しかし、子どもと関わっていく中で、子どもが笑顔で楽しそうに遊んでいる姿や、少しずつ成長している姿が見られたりするととても嬉しく感じました。③子どもたちの気持ちを大切に、自主性を育める保育をしていきたいと思っています。そのためにも、子どもの姿をよく見て、子どもの声を大切にしていきたいと思っています。そして、子どもたちにとって居心地がよく楽しいと思える保育園を目指していきたいです。④同じ夢を目指しているからこそ苦しい時は支え合いながら頑張れる仲間がいる場所だと思います。また、悩みや相談事があるときも親身に話を聞いてくださる先生方とも出会うことができた場所です。⑤時間がある学生生活のうちに、いろんな場所へ行きさまざまな経験をして視野を広げていってほしい。

「就職してから日々勉強」



キャリア育成学科オフィスワークコース
平成三十年年度卒
堀木 ひかる

①勤務先 就職して嬉しかったこと、辛かったこと
② 勤務先 就職して嬉しかったこと、辛かったこと
③ 将来の夢 高田短大とは、先輩へのメッセージ
④ 四日市市役所② 入庁して間もなく多くの業務を教えていただき、毎日生懸命取り組んでいます。覚える業務の量の多さや難しさにはいまだに慣れず、毎日が勉強の連続で、大変な仕事だと感じることも多いです。それでも念願の公務員として働くことができるのはとても嬉しく、充実した毎日を送れていると思います。③まずは自分の任せていただいている業務を迅速かつ丁寧にこなせるようになりたいです。そして、自分にできることを増やし、忙しい職場でしっかりと働いていけるように頑張ります。④短大での二年間は慌ただしいですが、新しいことを学び、自分のやりたいことに向き合える良い環境でした。⑤あっといふ間に過ぎる時間をどう使うかは自分次第だと思います。高短を卒業したその先にいる自分が後悔するような二年を過ごさないようにするにはどうすればいいのか、ぜひ一度考えてみてください。

「介護福祉士として働いて」



キャリア育成学科介護福祉コース
平成三十年年度卒
田中 未玖

①洗心福祉会「シルバーケア豊寿園」②まだまだ自分の介護技術の未熟さや覚えることもたくさんあり、毎日奮闘しています。普段反応があまりない利用者様が、声掛けに對し反応が見られたとき嬉しく思います。声は聞こえているけどそれに応えることが出来ないという事を理解し、思いやりのある声掛けを行っていきたく感じています。③利用者様にとっても自分にとっても安全な介護が出来、常に利用者様の気持ちに寄り添える介護福祉士になりたいです。④同じ目標に向かって一緒に頑張ることが出来る友達ができ、専門的な知識を様々な先生方から学べる場所です。⑤高田短期大学での二年間は本当にあつという間だけかえれないものです。自分のやりたい事があれば積極的に言い、また、たくさんの人と関わって自分の価値観を広げていってほしい。

公告 平成30年度における学校法人高田学園の決算は次のとおりですので、当学園寄附行為第40条の規定に基づき公告いたします。

貸借対照表 (平成31年3月31日)

学校法人 高田学園 (単位: 円)

資産の部				負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	(8,630,259,210)	(8,172,382,008)	(457,877,202)	固定負債	(449,063,468)	(248,633,413)	(200,430,055)
有形固定資産	(7,001,998,255)	(6,320,624,996)	(681,373,259)	長期借入金	199,999,999	0	199,999,999
土地	1,025,122,922	1,025,122,922	0	退職給与引当金	249,063,469	248,633,413	430,056
建物	4,674,605,702	4,015,891,322	658,714,380	流動負債	(1,118,489,081)	(471,438,471)	(647,050,610)
構築物	896,009,349	881,182,870	14,826,479	短期借入金	199,999,999	0	199,999,999
教育研究用機器備品	137,687,060	123,891,905	13,795,155	未払金	538,086,128	64,963,616	473,122,512
管理用機器備品	8,992,294	11,191,068	△2,198,774	前受金	286,588,000	317,493,000	△30,905,000
図書	225,685,192	223,583,668	2,101,524	預り金	28,886,386	28,968,499	△82,113
車輛	3,976,258	7,242,763	△3,266,505	修学旅行費預り金	59,028,168	53,046,156	5,982,012
学苑林	29,919,478	29,919,478	0	卒業諸費預り金	5,900,400	6,967,200	△1,066,800
建設仮勘定	0	2,599,000	△2,599,000	負債の部合計	(1,567,552,549)	(720,071,884)	(847,480,665)
特定資産	(1,530,597,198)	(1,752,110,000)	(△221,512,802)	純資産の部			
退職給与引当特定資産	312,490,000	312,490,000	0	科目	本年度末	前年度末	増減
施設設備補充引当特定資産	1,218,107,198	1,239,620,000	△21,512,802	基本金	(12,342,913,064)	(12,133,304,251)	(209,608,813)
第2号基本金引当特定資産	0	200,000,000	△200,000,000	第1号基本金	12,170,913,064	11,761,304,251	409,608,813
その他の固定資産	(97,663,757)	(99,647,012)	(△1,983,255)	第2号基本金	0	200,000,000	△200,000,000
借地権	2,257,500	2,257,500	0	第4号基本金	172,000,000	172,000,000	0
電話加入権	1,285,980	1,285,980	0	繰越収支差額	(△4,340,976,245)	(△4,151,199,469)	(△189,776,776)
施設利用権	427,140	498,330	△71,190	翌年度繰越収支差額	△4,340,976,245	△4,151,199,469	△189,776,776
ソフトウェア	972,000	1,396,440	△424,440	純資産の部合計	(8,001,936,819)	(7,982,104,782)	(19,832,037)
有価証券	80,070,136	80,070,136	0	負債及び純資産の部合計	(9,569,489,368)	(8,702,176,666)	(867,312,702)
差し入れ保証金	350,000	350,000	0				
長期前払金	12,301,001	13,788,626	△1,487,625				
流動資産	(939,230,158)	(529,794,658)	(409,435,500)				
現金預金	750,692,652	331,759,203	418,933,449				
未収入金	92,835,540	104,732,552	△11,897,012				
前払金	274,296	2,776,226	△2,501,930				
立替金	30,499,102	30,513,321	△14,219				
修学旅行費預り資産	59,028,168	53,046,156	5,982,012				
卒業諸費預り資産	5,900,400	6,967,200	△1,066,800				
資産の部合計	(9,569,489,368)	(8,702,176,666)	(867,312,702)				

平成30年度卒業生 就職先等一覧

子ども学科

◆私立保育園

アートチャイルドケア瀬戸幡山西保育園、愛華保育園、あかつき保育園、いせの杜保育園、いそやま保育園、一色保育園、嬉野保育園、えがお保育園、おとり保育園、海神南保育園、上浜保育園、亀戸プチ・クレイシユ、川崎愛児園、神戸保育園、くすのき保育園、久保保育園、くまだ保育園、こっこ保育園、白鳩保育園、たすいノース保育園、第二長太の浦保育園、第二はなこま保育園、高田保育園、多気の杜ゆたか園、つくし第二保育園、豊野保育園、中川こども園、ながさわ保育園、なかよし保育所、長太の浦保育園、はなこま保育園、ひので保育園、日の本第二保育園、日の本保育園、ひばり保育園、松阪仏教愛護園、三重愛育保育園、三重県総合医療センター あゆみ保育所、みそら保育園、山室山保育園、養泉寺保育園、わかすき保育園

ども園、NOBENOこども園、藤認定こども園、ひまわりこども園、みらいの森ゆたか園、明和ゆたか園、杜の街ゆたか園、ゆい保育園、ゆたか認定こども園

◆公立保育園

大台町立宮川保育園、大台町立川添保育園、大台町立日進保育園、孤野町立孤野西保育園、鈴鹿市立深伊沢保育所、鈴鹿市立白子保育所、大紀町立錦保育園、多気町立勢和保育園、津市高茶屋保育園、津市立誠保育園、津市八知保育園、東員町立東員保育園、松阪市立大津保育園、松阪市立つばな保育園、松阪市立ひかり保育園、松阪市立三郷保育園、松阪市立三雲北保育園、松阪市立やまなみ保育園、松阪市立若草保育園、弥富市立南部保育所、四日市市立桜台保育園

◆公立保育園(嘱託・臨時等)

亀山市立みなみ保育園、松阪市立若草保育園

◆公立幼稚園(嘱託・臨時等)

津市榊原幼稚園、松阪市立中川幼稚園、松阪市立花岡幼稚園

◆施設

エスペランス四日市、里山学院、里山学院乳児院、真盛学園、聖マツテヤ子供の家、長谷山寮、三重済美学院、みどり自由学園

◆企業

(株)日本陸送、(株)鴻原まるよし、本田技研工業(株)、(株)ホンダカーズ伊勢志摩、三重いすゞ自動車(株)、(株)ラウンドワン

◆進学

伊勢看護専門学校、名古屋工学院専門学校
◆公務
南伊勢町職員

キャリア育成学科 (オフィスワークコース)

◆建設業

アルコ(株)、杉工建設(株)、(株)ブラスワン

◆製造業

井村屋グループ(株)、(株)エーティーシー、(株)シゲマツ、正和製菓(株)、(株)モリワキエンジニアリング

◆電気・ガス

朝日ガスエナジー(株)、上野ガス(株)

◆情報通信業

(株)ミエデンシシステムソリューション

◆運輸業・郵便業

(株)日本陸送

◆卸・小売業

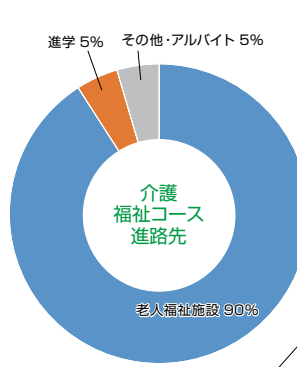
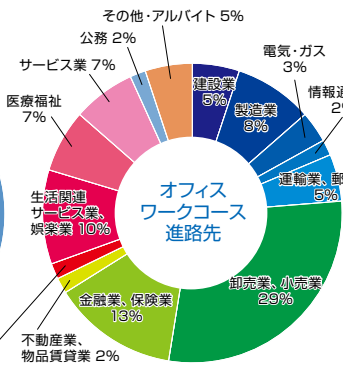
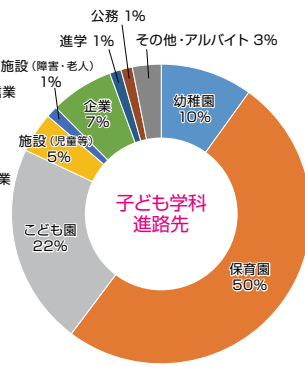
(有)アルバ、ICDAホールディングス(株)、(株)エムワン、豊橋ヤナセ(株)、三洋自動車(株)、ネットヨタノヴェル三重(株)、(株)ホンダカーズ三重東、(株)マツオカ、三重いすゞ自動車(株)、三重トヨタ自動車(株)、(株)三重大自動車(株)、(株)ミツイバウ・マテリアル

◆金融・保険業

北伊勢上野信用金庫、(株)第三銀行、(株)百五銀行、(株)三重銀行、明治安田生命保険相互会社

◆不動産業、物品賃貸業

(株)トヨタレンタリース三重
◆学術研究・技術サービス
社会保険労務士法人 総合経営労務センター
◆生活関連サービス業、娯楽業
(株)アダムス医療、(有)ジョイイ



アーズ、(株)BIG SHIP、(株)三重平安閣、(株)ラウンドワン
◆医療福祉
伊藤歯科、いど胃腸科クリニック、(株)グリーンスマイル、(医)同心会 遠山病院
◆サービス業
イセッパ(株)、(株)坂谷自動車工業、(公財)名古屋文化復興事業団
◆公務
四日市市職員

キャリア育成学科 (介護福祉コース)

◆老人福祉施設

(社福)あけあい会、(社福)永甲会、ゴールドエイジ(株)ゴールドエイジ伊船、(医)思源会、(社福)慈童会、(社福)青松園、(社福)洗心福祉会、(社福)高田福祉事業協会、(社福)白寿会、(株)ヒラマツ、村瀬病院グループ

◆進学

H A L 名古屋校

◆編集後記

皆様のご協力によりまして、高田短期大学通信第五十四号発行の運びとなりました。今号は、運動部の活動に加え、吹奏楽部の活動や本学一号館前に設置されました総合案内板についても掲載いたしました。今後ともご支援を賜りますようお願いいたします。

※「高田短期大学通信」題字デザインは、キャリア育成学科オフィスワークコース二年 平井南帆さんの応募作品を元に作成しました。